

TAMA CINEMA 通信



TAMA CINEMA FORUM

TAMA映画フォーラム実行委員会 〒206-0025 多摩市永山1-5 ヘルプ永山(永山公民館内)
代表:042-337-6661 直通:080-5450-7204 <http://www.tamaeiga.org/>

ある精肉店のはなし



5月特別上映会

5/6 火祝 ヘルプホール (多摩市立永山公民館)

(ヘルプ永山 5F・京王永山駅・小田急永山駅下車徒歩約2分)

- ① 10:30 - 12:20 [12:35 まで感想の時間]
- ② 13:30 - 15:20 [15:35 まで感想の時間]
- ③ 16:00 - 17:50 [18:05 まで感想の時間]
- ④ 18:30 - 20:20

作品鑑賞後に感想などを共有しませんか? 自由にご参加ください。

- チケット
- 前売 大人(13歳以上) 1,000円
 - 当日 大人(13歳以上) 1,200円
 - 子ども(4~12歳) 600円

※TAMA 映画フォーラム支援会員、障がい者とその付添者1名は当日600円です。

- *全席自由席・各回入替制です。
- *開場は各回15分前です。
- *スケジュールは変更になる場合があります。

本作プロデューサー 本橋成一氏の写真集
「屠場 くとば」より作品展示決定!!
会場にて併せてご覧頂けます。

企画者からのメッセージ

『ある精肉店のはなし』は大阪府貝塚市で7代にわたって牛と、そしていのちと向き合い続けた北出精肉店の姿を追った、『祝の島』につづく、瀬瀬あや監督2作目の長編ドキュメンタリー作品となります。

牛を扱う北出さんたちの印象的な表情や手つきに加え、被差別部落問題や屠畜産業といった問題にも臆することなく寄り添うようにやさしく、やさしく捉えています。

飽食時代をむかえ、TPP、遺伝子組み換え食品など「食」をめぐる様々な問題が待ち受けています。家族のあり方や人々のつながりもかなり変わってきたのではないのでしょうか。

また差別をめぐるはヘイトスピーチが社会問題化しつつあり、先日もサッカーJリーグでとあるチームの横断幕が問題になったばかりです。

そんな私たちにとっても身近な問題を含んだこの作品を観て、どう感じるか? どう考えるか? ということを探っていきたくて、今回初めての試みとして感想共有タイムを複数回の上映後に設けました。共有することで新しい見方や何かが生まれるかもしれません。ぜひお気軽にご参加くださいませ。

また、本作品プロデューサーの本橋成一氏の写真集『屠場 くとば』より作品を複数展示します。『屠場 くとば』は大阪府松原市でいわれなき差別を受けながらも、ひたむきに「いのち」と向き合う人々を追った写真集です。映画と併せて、より一層何かをみなさまの元に残せることを願っております。(橋口聖)

〔作品データ〕2013年/日本/1時間48分 特別上映会特設ページ: <http://www.tamaeiga.org/special/seinikuten/>
監督:瀬瀬あや/プロデューサー:本橋成一/撮影:大久保千津奈/編集:鶴飼邦彦/製作:やしほ映画社、ポレポレタイムス社
釜山国際映画祭ワイドアングル部門正式出品作品 山形国際ドキュメンタリー映画祭日本プログラム部門正式出品作品
2013年第87回キネマ旬報文化映画ベスト・テン第2位

negative: nothing

ネガティブ：ナッシング

全てはその一歩から

- ① 11:00 – 12:18
- ② 13:30 – 14:48
(14:48 – 15:20 ヤン・クヌーセル監督トーク)
- ③ 16:00 – 17:18
(17:18 – 17:50 ヤン・クヌーセル監督トーク)
- ④ 18:30 – 19:48



作品介绍

スイス人のトーマス・コーラさんもあの震災で人生が変わってしまった人の一人です。彼は今こそ大好きな日本に恩返しをしようと思いい立ちます。

北海道宗谷岬から鹿児島県佐多岬まで 2900 キロの道のりを徒歩で旅する彼のまわりには人が集まります。最初は菅笠をかぶった外国人が歩いているという物珍しさだけだったかもしれませんが。ただ、ひとたび彼の話聞いてしまうと、彼を応援する気持ちがふつふつと湧いてくるのです。そして、彼に感化されいつのまにかこちらが元気になってしまうのです。

地元の人や新聞社、果ては日本政府をも巻き込みながら、彼が歩んだ一歩一歩が、彼が歩いた道程が、彼のポジティブな言動と毎日書いたブログが、彼の周りに集まった人々を変え、やがて世界を変えていきます。

たとえ小さな声でも真摯な態度でポジティブに伝え続けることの大切さ。その声に耳を傾ける人々の美しさ。この映画が新たな一歩を踏み出すきっかけになればと思います。

今回の特別上映会では、トーマスさんの旅に同行したヤン・クヌーセル監督をゲストにお招きしてトークもを行います。
(遠藤弘樹)

東日本大震災後、
日本を勇気づけたいと
徒歩で日本を縦断した
スイス人男性の記録映画

[トークゲスト] ヤン・クヌーセル監督

兄であるステファンと共に本作の監督を務める。ニュースブログ asienspiegel.ch を立ち上げ、日本、中国、韓国の最新ニュースを配信する。ジャーナリストとしては長くスイス大手紙 Tages-Anzeiger オンラインの報道部副部長として、日本を始めとする東アジアに関する記事に長けていた。チューリッヒ、大阪の大学にて日本学を主専攻、政治学ならびに東アジア美術を副専攻として修士課程を修了。

前売チケットは5月6日(火・祝) 一般発売予定です!!

前売 大人 (13歳以上) **1,000円** (TAMA 映画フォーラム支援会員、障がい者とその付添者 1 名は当日 600 円です)
当日 大人 (13歳以上) **1,200円** 子ども (4~12歳) **600円**

* 全席自由席・各回入替制 * 開場は各回 15 分前 * スケジュールは変更になる場合があります。

4月12日(土)
特別上映会レポート

ペコロスの 母に会いに行く

たくさんの
ご来場ありがとうございました！

最後のお花見日和かなと思わせる4月12日土曜日、快晴のなか、永山ベルブホールで『ペコロスの母に会いに行く』特別上映会が催されました。

ここ何回か続いていたSNSでの前売好調さが今回は鈍く、逆に地元の公民館や書店での反応が日を追って高くなっていきました。

当日来場者の方々も60、70、80代と、うれしくなるような年齢層の方々が詰めかけてくださり、今さらながら介護への関心の高さがうかがえました。

上映中の反応も、皆さん画面を喰い入るように眺め、頷き、笑い、涙を流し、スクリーンに映し出される世界を同時に生きていることがひしひしと感じられました。



一回目の上映終了後、本作品のプロデューサー・村岡克彦氏のトークが始まりました。制作の動機、キャストिंगの裏話、原作者・岡野雄一氏との交流話等々、自在の話術を駆使していただきました。

主人公雄一のキャストिंगの際、岩松了氏をキャストした一番の理由は「禿げヅラ」が似合うからではなく長崎弁を駆使できるかにあったと話された時、村岡氏の長崎という町への想い入れがとても強く感じられました。

また、長崎には三つの「か」が多くある、まず「はか(墓)」、「さか(坂)」そして「ばか(馬鹿)」。大水害で眼鏡橋が流された時、自分の家が大変になっているのに、そっこのけで流された橋の見物におおぜい押しかけた、とのエピソードでは場内大爆笑。来



プロデューサー 村岡克彦氏

場者からの質疑の際には長崎出身の方も居り、「映し出される世界をととても懐かしんで観ました」と感想を述べていました。

今回は初めて視覚障がいの方のために音声ガイドをつけてみましたが、担当してくださったシティライツの方々のガイドヘルプが素晴らしく、村岡氏も感謝の言葉を述べていました。

二回目の入替の際のホワイエは人・人の渦で私には初めて見る光景でした。アンケートの回収率も高く、感想も多くの方が好意的に書いてくださいました。

上映作品を選べば年齢の高い方にも十分にアピールできることがわかったことと、音声ガイドもNPOとの連携でマンパワーの心配はなく、来場者の巾をまだまだ上げられることがよくわかりました。多摩の住人はまだまだ映画好きが多いぞっと、確認できた素晴らしい上映会でした。

チラシ配布、前売りチケット販売、口コミ等さまざまな宣伝戦に協力し、当日の運営に協力していただいた実行委員の皆様へ感謝、感謝です。

(竹内昇)

TAMA NEW WAVE ニュース

第15回TAMA NEW WAVEコンペティションの作品を現在募集中です。

また、昨年のノミネート作品『あの娘、早くババアになればいいのに』が2014年6月7日よりテアトル新宿にてレイトショーで上映決定です。ぜひご覧下さい。

映画祭新実行委員を募集します

第24回映画祭TAMA CINEMA FORUMを一緒に作りませんか？

映画祭の企画・運営に関わってみたい方や、まちづくりイベントに興味のある方は、ぜひ実行委員として活動してみませんか。

▼説明会日時：5/11（日）

14時～15時半（13時半より受付）

▼場所：消費生活センター講座室（ベルブ永山3階）

▼内容：① 映画祭が開催されるまで
② 映画の選定方法は？
③ 実行委員は何をするの？
④ どんな人が実行委員なの？ 等

▼対象：映画祭運営に興味ある方どなたでも

▼申込方法：

電話またはファクシミリで、住所・氏名・年齢・性別・電話番号を永山公民館内 TAMA 映画フォーラム実行委員会 ☎080(5450)7204（直通）、Fax 042(337)6003 へ映画フォーラム実行委員会ホームページ <http://www.tamaeiga.org/> からでも申込可能です。

第24回映画祭
TAMA CINEMA FORUM

今年の映画祭は11月22日（土）から11月30日（日）までの開催予定です。

現在は映画祭でどんな作品を上映しようかと企画案を練っている段階です。今年の映画祭ではどんな映画が上映されて、どんなゲストが来場するのか…。そして第6回目を迎える日本で一番早い(!?) TAMA映画賞はどんな作品・受賞者に贈られるのか。

皆さん、どうぞお楽しみに！

支援会員制度のお願い

当映画祭を一緒に支えて頂ける支援会員を募集しています。映画を「見る人、見せる人、創る人」の交流の場づくりを通じた、地域と日本映画界の活性化に向けて、資金面でサポート頂けませんか。ご支援頂いた方には特典をご用意していますので、ぜひご協力をお願い致します。

[支援金寄付 個人会員]

一口1000円

郵便振替番号 00160-5-541123

加入者名 TAMA映画フォーラム実行委員会

（ご不明な点はお問い合わせ下さい）

特典①：映画祭チラシ送付

特典②：映画祭パンフレット贈呈

特典③：特別上映会割引（当日料金が半額！
2～8月の間に4～5回開催予定）

※その他特典もご用意する予定です。

〔From 編集室〕

シベ超ニュース 『シベ超』の最新情報は <http://www.sibecho.com/> で

新宿ピカデリーのパンフレットなどを販売している一画でフィギュアの展示販売をしていますが、何とそこにシベ超の水野晴郎閣下のフィギュアも展示されていることを発見しました。残念ながら、在庫切れで展示のみになりましたが。ということで、今年公開されるかもしれないシベ超の新作に期待しましょう。

トラック野郎ニュース

今年約40周年記念ということで、Blu-rayBOXが発売された『トラック野郎』シリーズ。

出演は菅原文太、愛川欽也や歴代マドンナで、監督は奇才・鈴木則文。先日特集イベントで、全10作品の特報や予告編を一気に観ましたが、はちゃめちゃですごい。楽しい。全10作の内観てない作品の方が多いけど、こりゃもったいないと思いました。ちなみにエガちゃん「江頭2:50がTAMA映画祭でピーピーピーするぞ！」で来た際に発表した元気が出る映画ランキング第一位も『トラック野郎 男一匹桃次郎』でした。

TAMA映画フォーラム実行委員会ホームページ www.tamaeiga.org/

 @tamaeiga (最新情報をフォロー)  www.facebook.com/tamaeiga (facebookページに「いいね!」で参加)